

(2019年12月30日～2020年1月12日)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171519.html>

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 日本紅斑熱の報告が第2週に1例(60歳代男性)あり、感染地域は国内です。1999年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行されて以来、京都市における累積報告数は7例となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が第2週に1例(70歳代男性)あり、症状は発熱、食欲低下で、感染地域及び感染経路はともに不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が第1週に1例(80歳代女性)、第2週に5例(10歳未満男性1例、50歳代男性1例、70歳代女性1例、80歳代男性1例及び女性1例)あります。本疾患の予防にはワクチンの接種が有効です。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳細については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が第2週に2例(20歳代及び30歳代女性各1例)ありました。感染経路はいずれも性的接触です。
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。
○京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>
- 百日咳の報告が第2週に1例(10歳未満男性)あり、症状は持続する咳で、感染経路は不明です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

現在、本市及び全国共に注意報レベルとなっていますが、過去5年平均値の推移では、例年は1月中旬から2月にかけて報告数がピークになるため予断を許さない状況であり、今後の発生動向に注意が必要です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

【2020年第1週】

- 二類: 結核 なし(肺結核 なし、その他結核 なし、潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 なし(肺結核 なし、その他結核 なし、潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】

【2020年第2週】

- 二類: 結核 8例(肺結核 5例、その他結核 なし、潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 8例(肺結核 5例、その他結核 なし、潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例】
- 四類: 日本紅斑熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 5例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点43、眼科定点10、基幹定点1)

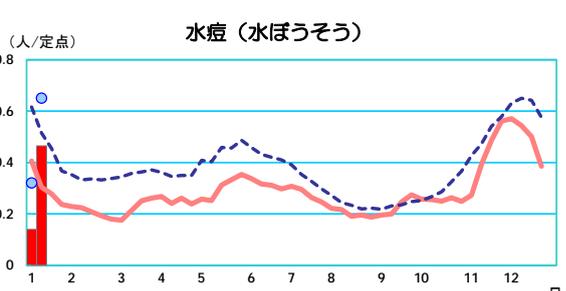
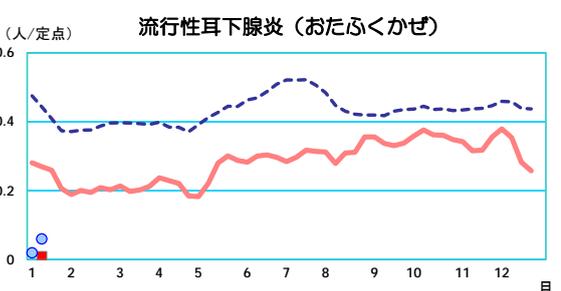
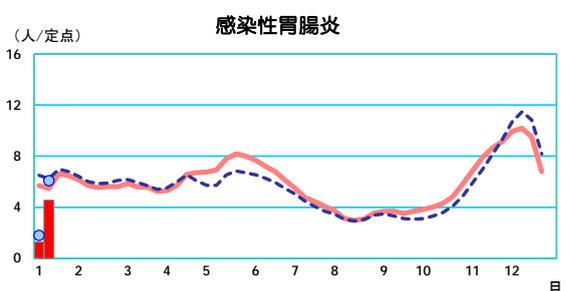
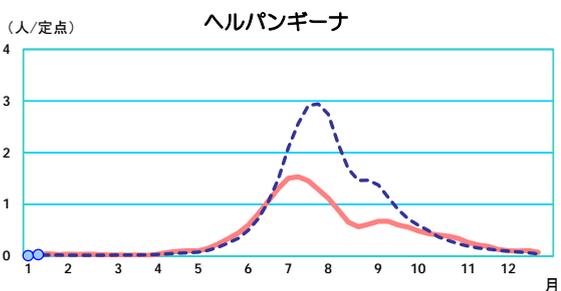
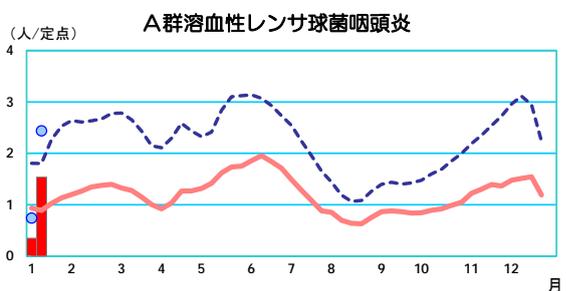
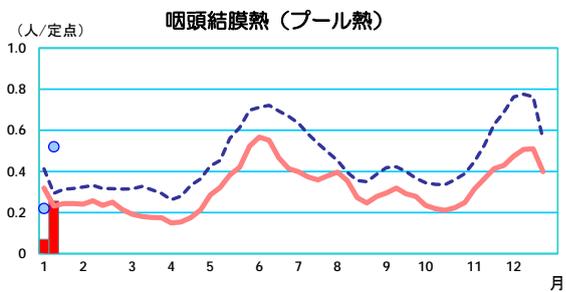
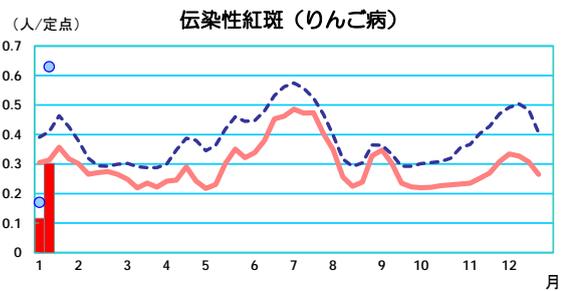
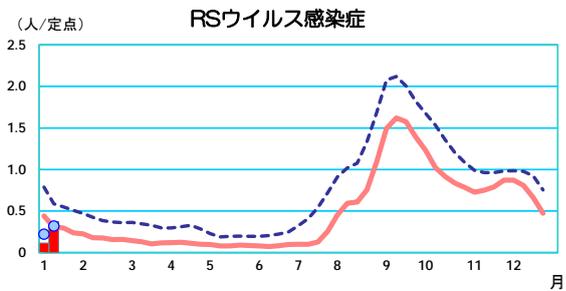
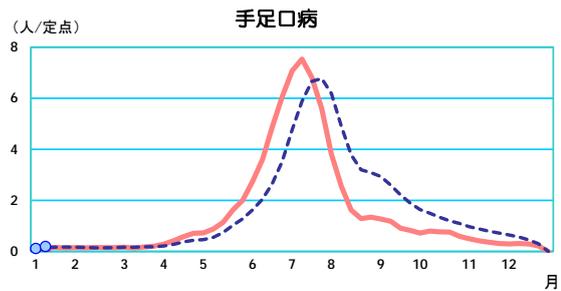
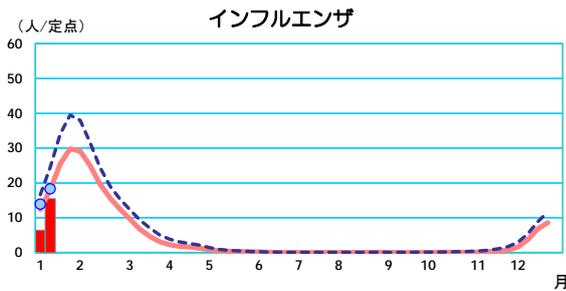
定点	2020年 第1週			2020年 第2週		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	6.43	444	インフルエンザ	15.48	1,068
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.28	55	① 感染性胃腸炎	4.56	196
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	15	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	66
	③ 水痘	0.14	6	③ 水痘	0.47	20
	④ RSウイルス感染症	0.12	5	④ RSウイルス感染症	0.37	16
	④ 伝染性紅斑	0.12	5	⑤ 伝染性紅斑	0.30	13
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0	流行性角結膜炎	0.70	7

【次ページ以降の主な内容】

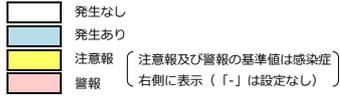
発生状況の概況グラフ / インフルエンザ*及び小児感染症の発生状況地図 / 今週のトピックス: <インフルエンザ>
付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2020年1月16日現在の報告数で、全国の変元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

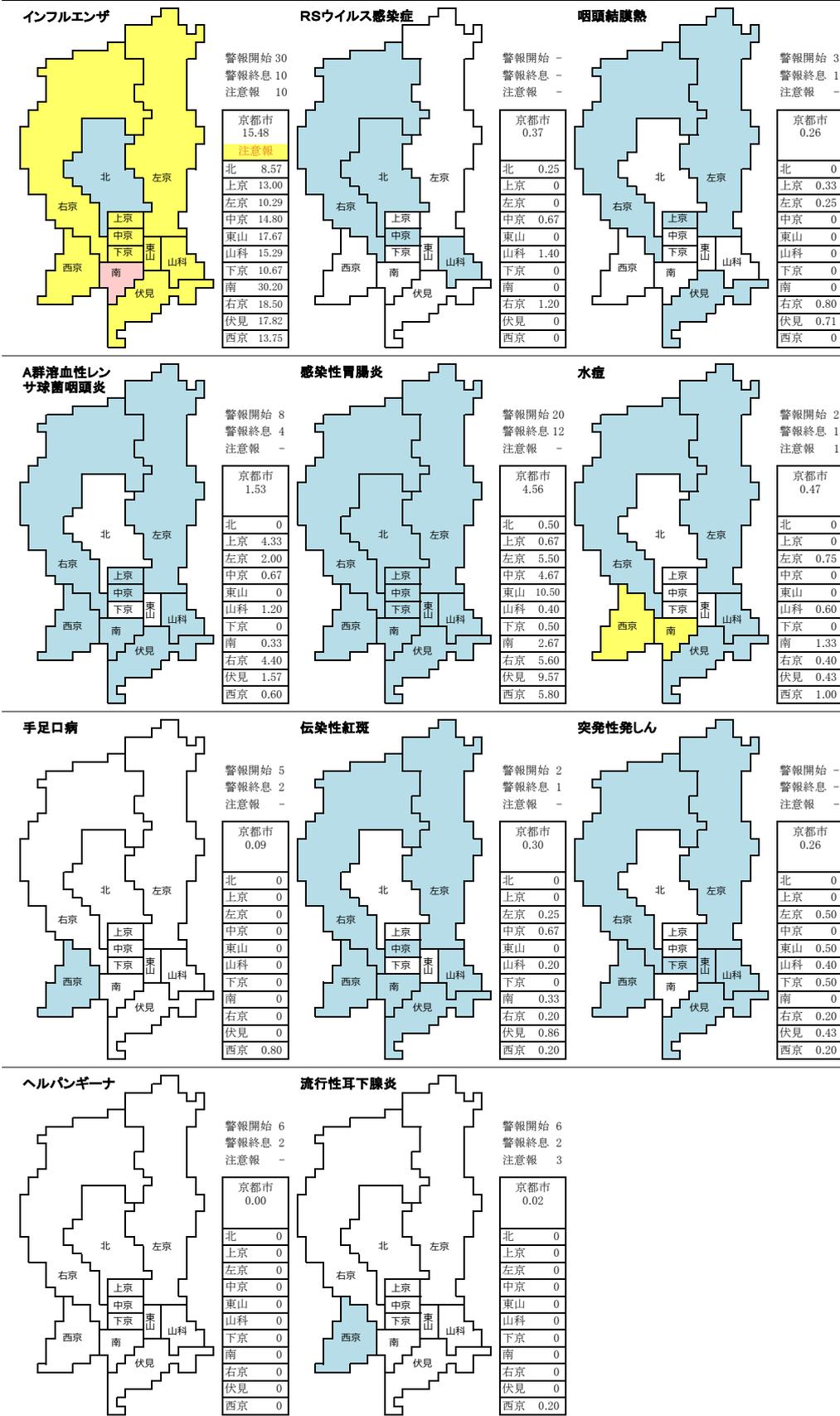
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第2週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



第2週(1月6日～1月12日)トピックス: <インフルエンザ>

前週(第1週)は年末年始のため多くの医療機関が休診していたこともあり、インフルエンザの定点当たり報告数は本市、全国共に前々週(第52週)から減少しました。このため、今週(第2週)は京都市が15.48(前週6.43)、全国が18.33(前週13.93)と増加に転じました。現在、本市及び全国共に注意報レベルとなっていますが、過去5年平均値の推移では、例年は1月中旬から2月にかけて報告数がピークになるため予断を許さない状況であり、今後の発生動向に注意が必要です(図1)。

都道府県別の定点当たり報告数でも、秋田県や岐阜県など6県を除く41都道府県で、前週(第1週)は前々週(第52週)より報告数が減少し、今週(第2週)は増加に転じました。また、今週は全都道府県が注意報レベルとなっており、地域的な偏りは見られません(図2)。

今シーズンのこれまでの全国のウイルス型別検出割合を過去のシーズンの同時期までと比較すると、今シーズンはA(H1)pdm09型が90%以上と非常に多い割合で検出されています。過去に1つの型が多く検出されていたのは2016/2017シーズンで、A(H3)型が90%以上を占めています。他のシーズンは複数のウイルス型がある程度の割合で検出されていました(図3)。ウイルスの検出割合と過去の定点当たり報告数の推移を見比べると、単一の型が多く検出されていた2016/2017シーズンのみが警報レベルに至りませんでした(図4)。

今後の動向について、2016/2017シーズンと同様の傾向となることが予測されますが、過去いずれのシーズンにおいても1月下旬から2月にピークを迎えた後、注意報レベルの基準値である定点当たり報告数「10」を下回るまでに3週間から8週間を要しており、長期間報告数の高い状態が続いています。手洗いの励行や人混みをなるべく避ける、十分な睡眠・栄養を取るなどの予防策を最大限に徹底してください。

このほかのインフルエンザ発生状況の詳細や予防対策については下記URLを御参照ください。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

○インフルエンザの発生状況について(健康安全課のホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

図1 本市及び全国の定点当たり報告数の推移

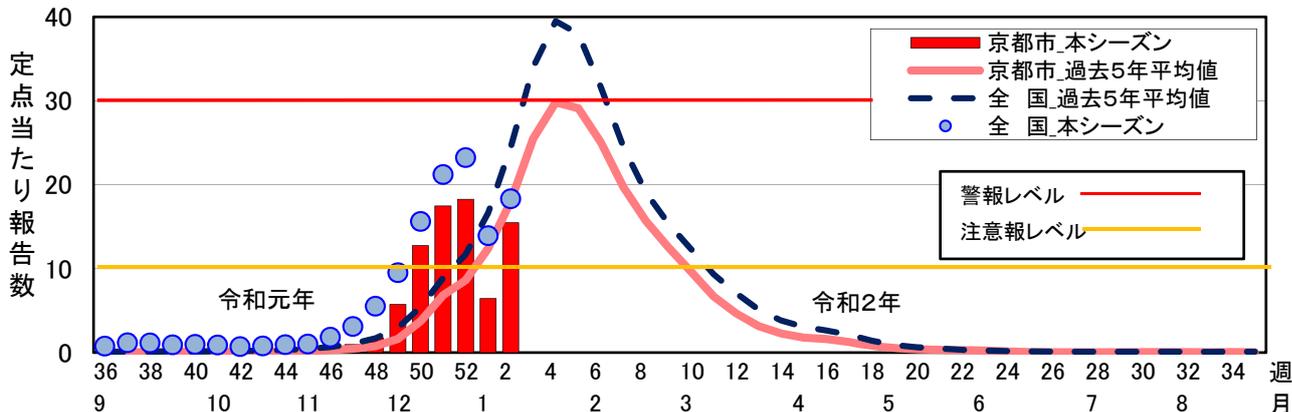


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

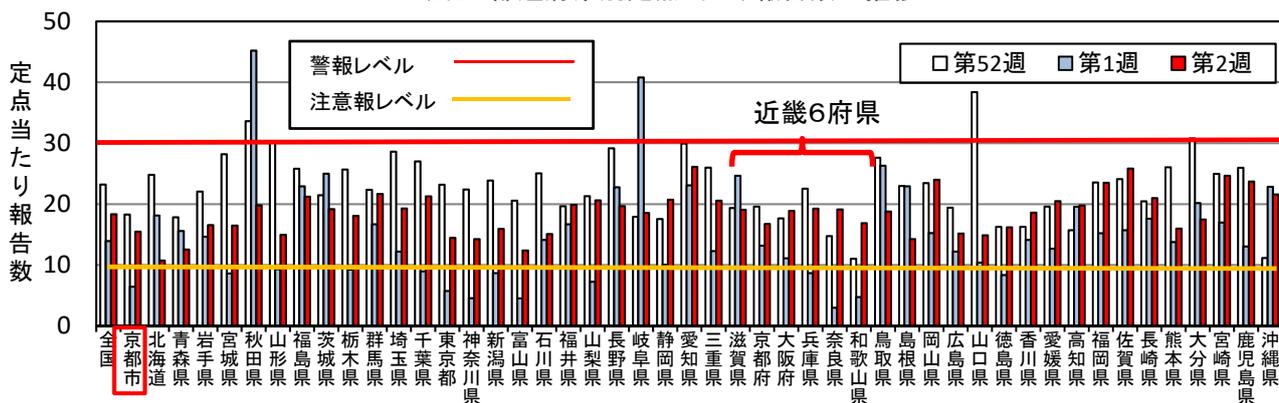


図3 全国の過去5シーズンのインフルエンザウイルス型別検出割合

(各シーズン: 第36～2週まで) (2020.1.15現在)

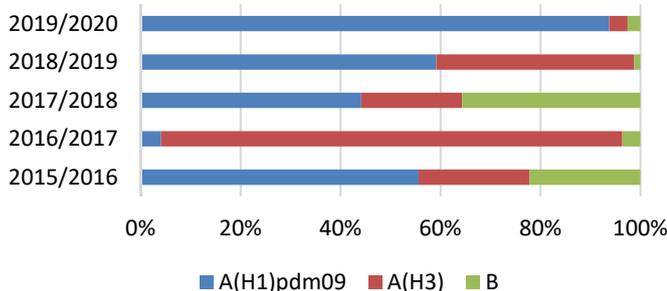
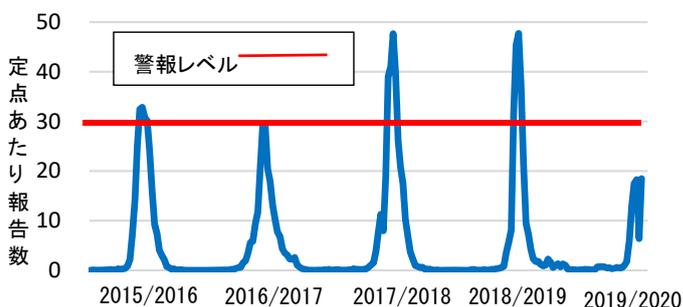


図4 京都市の過去5シーズンの定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第1週

疾病,行政区別報告数

2019年12月30日～2019年1月5日

データ入手日:2020年1月10日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	19	-	-	1	3	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	92	-	-	1	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	32	3	-	1	19	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	29	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	99	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	25	1	3	7	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	53	1	-	5	24	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	7	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	444	5	3	15	55	6	2	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	4.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	10.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	2.71	-	-	0.25	0.75	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	18.40	-	-	0.33	1.33	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10.67	1.50	-	0.50	9.50	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	4.14	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	19.80	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	3.13	0.20	0.60	1.40	0.60	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	4.82	0.14	-	0.71	3.43	0.43	0.29	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.88	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	6.43	0.12	0.07	0.35	1.28	0.14	0.05	0.12	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第2週

疾病,行政区別報告数

2019年1月6日~2019年1月12日

データ入手日:2020年1月16日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	60	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2						
上京	65	-	1	13	2	-	-	-	-	-	-	-	2						
左京	72	-	1	8	22	3	-	1	2	-	-	-	-						
中京	74	2	-	2	14	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	53	-	-	-	21	-	-	-	1	-	-	-	-						
山科	107	7	-	6	2	3	-	1	2	-	-	-	3						
下京	32	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-						
南	151	-	-	1	8	4	-	1	-	-	-	-	-						
右京	148	6	4	22	28	2	-	1	1	-	-	-	-						
伏見	196	-	5	11	67	3	-	6	3	-	-	-	-						
西京	110	-	-	3	29	5	4	1	1	-	1	-	-						
京都市計	1,068	16	11	66	196	20	4	13	11	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	8.57	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	2.00						
上京	13.00	-	0.33	4.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	2.00						
左京	10.29	-	0.25	2.00	5.50	0.75	-	0.25	0.50	-	-	-	-						
中京	14.80	0.67	-	0.67	4.67	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	17.67	-	-	-	10.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
山科	15.29	1.40	-	1.20	0.40	0.60	-	0.20	0.40	-	-	-	3.00						
下京	10.67	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
南	30.20	-	-	0.33	2.67	1.33	-	0.33	-	-	-	-	-						
右京	18.50	1.20	0.80	4.40	5.60	0.40	-	0.20	0.20	-	-	-	-						
伏見	17.82	-	0.71	1.57	9.57	0.43	-	0.86	0.43	-	-	-	-						
西京	13.75	-	-	0.60	5.80	1.00	0.80	0.20	0.20	-	0.20	-	-						
京都市計	15.48	0.37	0.26	1.53	4.56	0.47	0.09	0.30	0.26	-	0.02	-	0.70	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第1週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年12月30日～2019年1月5日

データ入手日:2020年1月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	444	-	8	20	15	18	13	11	14	14	6	11	27	15	55	69	73	45	18	9	3
RSウイルス感染症	年齢3	5	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		3	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	-	-	1	2	1	1	1	3	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		55	-	1	10	8	6	4	6	6	-	4	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		5	-	-	-	1	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	6.43	-	0.12	0.29	0.22	0.26	0.19	0.16	0.20	0.20	0.09	0.16	0.39	0.22	0.80	1.00	1.06	0.65	0.26	0.13	0.04
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	-	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.35	-	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07	-	-	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.28	-	0.02	0.23	0.19	0.14	0.09	0.14	0.14	-	0.09	-	0.14	-	0.09	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.12	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.07	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第2週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年1月6日～2019年1月12日

データ入手日:2020年1月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,068	3	19	50	51	52	49	45	59	52	40	45	116	47	97	89	93	75	44	28	14	
RSウイルス感染症	年齢3	16	1	4	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		11	-	1	3	-	2	2	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		66	-	1	3	3	5	5	9	8	8	5	5	8	2	4	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		196	2	9	40	25	14	13	10	8	8	10	6	17	6	28	-	-	-	-	-	-	-
水痘		20	-	-	-	1	-	-	-	4	3	4	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		4	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		13	-	-	-	1	1	3	3	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	1	2	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	2	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	15.48	0.04	0.28	0.72	0.74	0.75	0.71	0.65	0.86	0.75	0.58	0.65	1.68	0.68	1.41	1.29	1.35	1.09	0.64	0.41	0.20	
RSウイルス感染症	年齢3	0.37	0.02	0.09	0.19	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.07	-	0.05	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.53	-	0.02	0.07	0.07	0.12	0.12	0.21	0.19	0.19	0.12	0.12	0.19	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		4.56	0.05	0.21	0.93	0.58	0.33	0.30	0.23	0.19	0.19	0.23	0.14	0.40	0.14	0.65	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.47	-	-	-	0.02	-	-	-	0.09	0.07	0.09	0.05	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.30	-	-	-	0.02	0.02	0.07	0.07	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.26	0.02	0.05	0.14	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.30	-	0.20	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第2週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年1月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	408	889	1,205	1,261	444	1,068
RSウイルス感染症	19	14	17	20	5	16
咽頭結膜熱	22	18	31	23	3	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	86	96	79	89	15	66
感染性胃腸炎	211	248	299	312	55	196
水痘	50	35	35	19	6	20
手足口病	20	15	17	16	2	4
伝染性紅斑	29	18	15	13	5	13
突発性発しん	13	9	11	6	3	11
ヘルパンギーナ	3	2	4	-	1	-
流行性耳下腺炎	3	5	2	-	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	2	2	-	7
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	866	1,351	1,717	1,761	539	1,413

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	5.91	12.88	17.46	18.28	6.43	15.48
RSウイルス感染症	0.44	0.33	0.40	0.47	0.12	0.37
咽頭結膜熱	0.51	0.42	0.72	0.53	0.07	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	2.23	1.84	2.07	0.35	1.53
感染性胃腸炎	4.91	5.77	6.95	7.26	1.28	4.56
水痘	1.16	0.81	0.81	0.44	0.14	0.47
手足口病	0.47	0.35	0.40	0.37	0.05	0.09
伝染性紅斑	0.67	0.42	0.35	0.30	0.12	0.30
突発性発しん	0.30	0.21	0.26	0.14	0.07	0.26
ヘルパンギーナ	0.07	0.05	0.09	-	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.07	0.12	0.05	-	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.20	0.20	-	0.70
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	16.72	23.78	29.52	30.06	8.64	24.04

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。